令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	市民政策局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権啓発課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2292
基本事業	人権啓発活動拠点の機能充実	事業実施主体	市
事務事業	隣保館・児童館管理運営事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	文化センター・児童館は、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権問題の解決のための各種事業を行うとともに、健全な遊び等を通して、児童の健康を増進するなど、児童の健全育成を図る。
2年度概要	①文化センター・児童館の管理、運営等 ②文化祭及び交流事業等 ③各種研修会への参加等

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	地域住民
意図（どのような状態にしたいか）	1　文化センターが、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となるよう各種事業を総合的に行う。 2　児童の健康を増進し、情操を豊かにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 各種事業実施回数	回	4,712	3,511	3,092	6,250	6,250
② 児童館開館日数	日	1,482	1,269	1,518	1,482	1,482

【事業の成果】

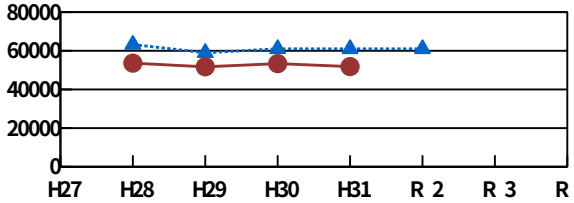
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
隣保館利用者数	人	目標値	59,000	61,000	61,000	61,000	61,000
		実績値	51,706	53,359	51,824		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

活動の中には、屋外（運動場等）を利用するもの（夏祭り他）もあり、実施時の天候に左右される面があったこと、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、イベントは中止したことにより、目標値を下回った。

（目標達成度）



（達成度）
85.0%
29点

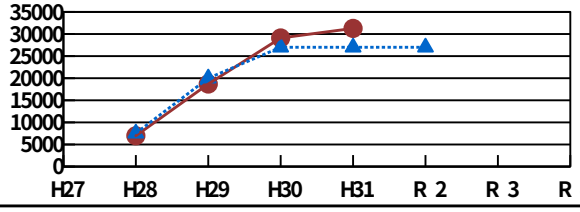
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
児童館利用者数	人	目標値	20,000	27,000	27,000	27,000	27,000
		実績値	18,687	29,105	31,271		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新たな取り組み等を継続して実施できたことにより児童館への来館者増につながった。今後は改修工事の予定あるので利用減にならないよう新たに取り組んでいく。

（目標達成度）



（達成度）
115.8%
35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	188,051	187,060	190,539	194,027
(事業費)	[千円]	37,828	37,332	40,297	43,785
(職員人件費)	[千円]	150,223	149,728	150,242	150,242

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

改修工事が進み、利用者が増加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴いイベントを中止したことにより減少した。令和５年度に改修計画が完了することから、利用者の要望を把握し、各種事業の見直しを行う。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

・各種事業の見直しなどにより、より多くの人に来館してもらえるようにする。
・文化センター（隣保館）・児童館改修計画に基づき、各館の改修の円滑な実施に努める。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	市民政策局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権啓発課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2292
基本事業	人権啓発活動拠点の機能充実	事業実施主体	市
事務事業	文化センター・児童館整備事業	事業期間	平成 28年度～令和　4年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域における福祉の向上や人権啓発のための「住民交流の拠点」である文化センターと、健康増進や情操教育など、児童の健全育成を図るための児童館の適切な管理運営のため、「文化センター・児童館改修計画」に基づき、施設の計画的な修繕・改修等を行う。
2年度概要	①新居児童館改築工事及び解体工事実施設計 ②吉光児童館改築工事基本設計

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	文化センター・児童館の各施設
意図（どのような状態にしたいか）	地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となっている文化センター及び児童の健康を増進し、情操を豊かにする児童館の修繕、改修を行うことで、各種事業の円滑な実施を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 文化センター・児童館改修計画に基づく改修施設数	館	2	0	1	1	4
②						

【事業の成果】

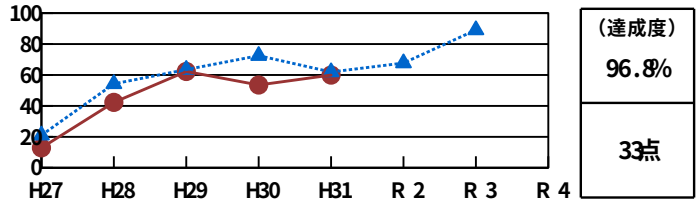
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
文化センター・児童館改修進捗率（事業費）	%	目標値	63.49	72.5	61.94	67.72	67.72
		実績値	62.27	53.53	59.94		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）

吉光文化センター改修工事等においては、完成時期が半年遅れたが完成した。また、事業費については、入札等により抑えられたことで成果指標の目標値に達していないが、建物改修等については改修計画に基づき実施できた。

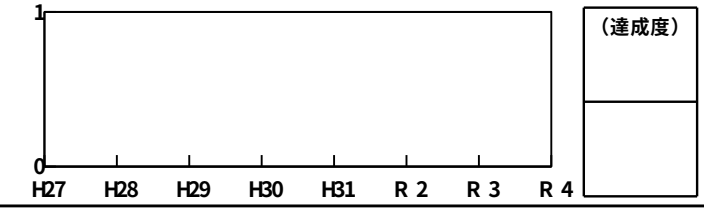


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	288,011	70,642	78,578	83,949
（事業費）	[千円]	272,837	55,518	63,402	68,773
（職員人件費）	[千円]	15,174	15,124	15,176	15,176

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

改修工事計画に基づき、地元の協議を適宜進め計画通りに進める。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

各施設地元関係者との協議を適時進めており、本年度以降は計画年度内の完了を目指し対応して行く予定である。